

新潟市南区 (株)白根大郷梨中村観光果樹園



大型冷蔵庫内はエダマメ出荷の最盛期 (中央が中村社長)

新潟市南区の(株)白根大郷梨中村観光果樹園が、日本郵便(ネットショップやカタログギフトで人気を呼んでいる。届けるのは、主力の洋ナシ「ル レクチエ」とナシ(新興)、モモ、エダマメ。出荷の増加に対応するため、他農家などから仕入れるほどの繁盛ぶりだ。

全国農業新聞

2015年(平成27年) 8月14日 金曜日
日4回金曜日発行

奇跡のナシ中心に大繁盛

ルレクチエ郵便局のネットでも人気

6品カタログ販売

「今年は去年の1.5倍用意した。6千個ぐらい出るのはではないか」。7月中旬、エダマメ出荷の最盛期を迎え、中村芳雄代表取締役社長(57)は今年の売れ行きに自信をみせる。15キロ入りが2950円(送料・消費税込み)の高級品にも関わらず、昨年は用意した4千個が完売した。



糖度が16度と高く、舌ざわりも滑らかなルレクチエ

同園がカタログに出すのは、エダマメのほかルレクチエ、同加工品セット(ジュース、コンポート、あめ)、ナシ(新興)、モモ、今年から始めたトウモロコシの6種類。契約農家やJA、市場から仕入れ、同社で化粧箱に詰めて出荷する。契約農家にとっては市場出荷の約2倍の手取り、モモでは3倍ほどになるといふ。

エダマメだけでなく、ほかの品目でも増加を見込む。モモは昨年、2.4キロを3500円(同)で出し、1345個売った。今年用意するのは2500個だ。今年7月には1200万円かけた1ヶ所の大型冷蔵庫を稼働させ、さらなる鮮度保持と大量出荷に備える。

同地発祥の洋ナシ

日本郵便は、インターネットショップで439種類の果物と102種類の野菜・米を販売。各郵便局などでカタログ販売を含めるとその数はさらに多い。農産物は季節を表す贈答品として重宝されている。

しかし、中村社長は「これでもうける気はない。あくまでうちを知ってもらうため」と強調する。本当に売りたいのはルレクチエとの思いが強い。

「奇跡のナシ」「西洋ナシの貴婦人」とも呼ばれる同種は、同地が国内発祥。栽培の難しさから反対した親を押し切って大規模化した中村社長には、ひときわ強い思い入れがある。台風

やひょうで収量が落ちないよう多目的防災網を県内でいち早く設置し、不可能といわれている無袋栽培の試験にも挑んでいる。

同園は、毎年18%の伸び率で売り上げを伸ばす。大手菓子メーカーを監修したグミや委託加工して販売するジュースとあめの引き合いは強く、大台の1億円には今期中に到達する見通しだ。中村社長は「これからも伸びていく土台はできた。作り手だけでなく、売り手にならなくてはいけない」と意気込む。



しろねだいごう (株)白根大郷梨中村観光果樹園

0120-04-4174

E-mail: info@nashigari.com

http://www.nashigari.com 中村観光果樹園 検索

〒950-1404 新潟県新潟市南区大郷1736-1